



**平成30年3月期 第2四半期**  
**決算説明会資料**

**平成29年11月8日(水)**

**日本KFCホールディングス株式会社**

**(東証第2部 証券コード 9873)**

# 主なご説明内容

---

おいしさ、しあわせ創造企業  
日本KFCホールディングスグループ

1. 会社概要
2. 平成30年3月期 第2四半期決算ハイライト
3. 当社グループのこれまでの主な取り組み
4. 2020年に向けた成長戦略
5. 今期の見通し

# 会社概要

おいしさ、しあわせ創造企業  
日本KFCホールディングスグループ

社名	日本KFCホールディングス株式会社
設立	1970年(昭和45年)7月4日
本社	神奈川県横浜市西区みなとみらい4丁目4番5号
代表者	代表取締役社長 近藤 正樹
資本金	72億9,750万円
店舗数	1,153店舗 (2017年9月末現在) ●直営店舗 323店舗 ●フランチャイズ店舗 830店舗
連結子会社	4社
株式上場	東京証券取引所 市場第2部 (証券コード: 9873)

# 主な沿革

おいしさ、しあわせ創造企業  
日本KFCホールディングスグループ

- 1970年7月 米国KFCコーポレーションと三菱商事株式会社との折半出資により  
資本金7,200万円にて設立
- 11月 愛知県名古屋市西区にKFC1号店・名西店開店
- 1973年12月 KFCチェーン第100号店・赤坂店開店
- 1974年12月 初のクリスマスキャンペーンを実施
- 1985年4月 KFCチェーン第500号店・渋谷公園通り店開店
- 1990年8月 東京証券取引所市場第2部に上場、資本金を72億9,750万円に増資
- 1991年5月 ピザハット事業部を新設、ピザハット事業開始
- 2007年12月 三菱商事株式会社が親会社となる
- 2014年4月 「日本KFCホールディングス株式会社」に商号変更し、持株会社体制へ
- 2015年11月 三菱商事株式会社による当社普通株式の売出
- 2016年6月 監査役会設置会社から監査等委員会設置会社へ移行
- 2017年2月 本社を東京都渋谷区から神奈川県横浜市西区みなとみらいへ移転
- 2017年6月 連結子会社日本ピザハット株式会社及びフェニックス・フーズ株式会社の  
株式の全部をエンデバー・ユナイテッド・パートナーズ・シックス株式会社へ  
株式譲渡し、連結子会社から外れる
- 2020年7月 創立50周年を迎える



# 平成30年3月期 第2四半期決算ハイライト

# 平成30年3月期第2四半期実績(連結)

おいしさ、しあわせ創造企業  
日本KFCホールディングスグループ

単位:百万円\_百万円未満切捨

	当期実績		前期実績		増減	
	金額	売上比	金額	売上比	金額	売上比
売上高	36,858	100.0%	41,751	100.0%	▲4,893	—
売上総利益	15,976	43.3%	18,844	45.1%	▲2,867	▲1.8%
一般管理費	▲15,848	43.0%	▲18,009	43.1%	2,161	0.1%
営業利益	127	0.3%	834	2.0%	▲706	▲1.7%
経常利益	229	0.6%	783	1.9%	▲554	▲1.3%
純利益	844	2.3%	417	1.0%	426	1.3%

# セグメント別売上高・営業利益

おいしさ、しあわせ創造企業  
日本KFCホールディングスグループ

単位：百万円\_百万円未満切捨

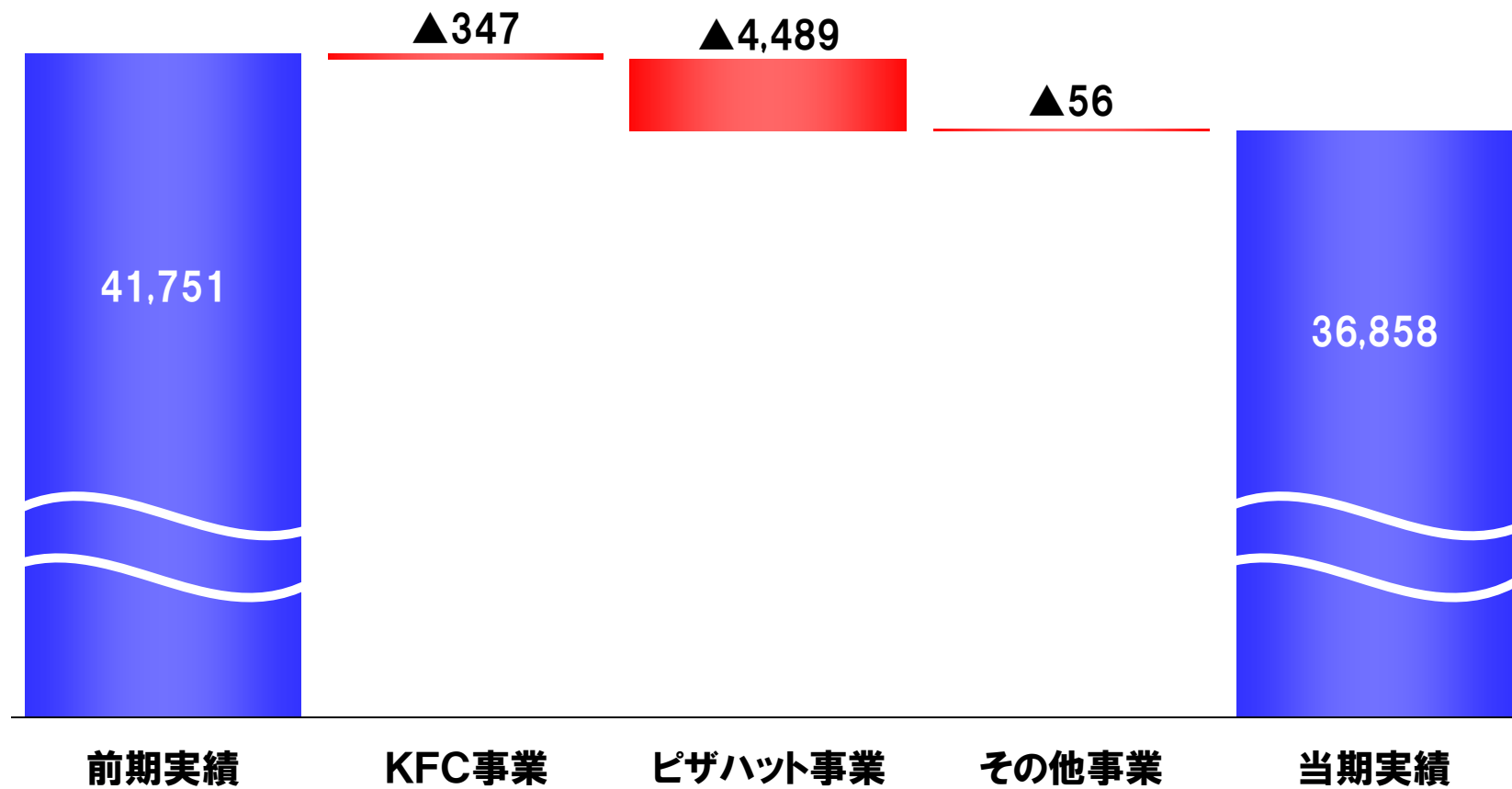
	当期実績		前期実績		増減	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
合計	36,858	127	41,751	834	▲4,893	▲706
KFC事業	32,506	▲357	32,853	255	▲347	▲613
ピザハット事業	2,721	▲0	7,211	▲87	▲4,489	87
その他事業	1,630	486	1,686	666	▲56	▲180

\*ピザハット事業は2017年6月12日付けでの株式譲渡を以て連結より外れております。

# 売上高 セグメント別増減

おいしさ、しあわせ創造企業  
日本KFCホールディングスグループ

単位：百万円\_百万円未満切捨

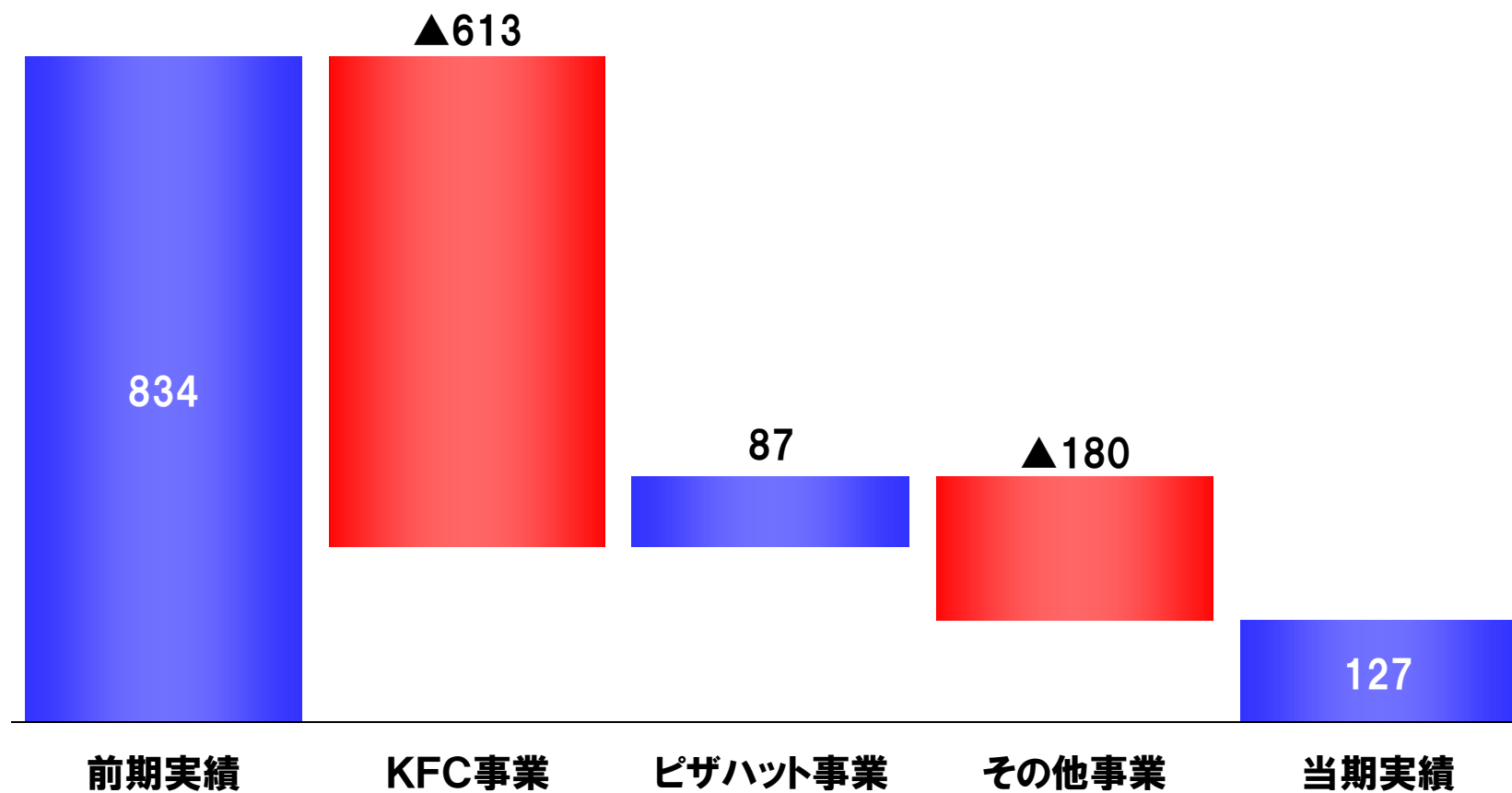




# 営業利益 セグメント別増減

おいしさ、しあわせ創造企業  
日本KFCホールディングスグループ

単位：百万円\_百万円未満切捨

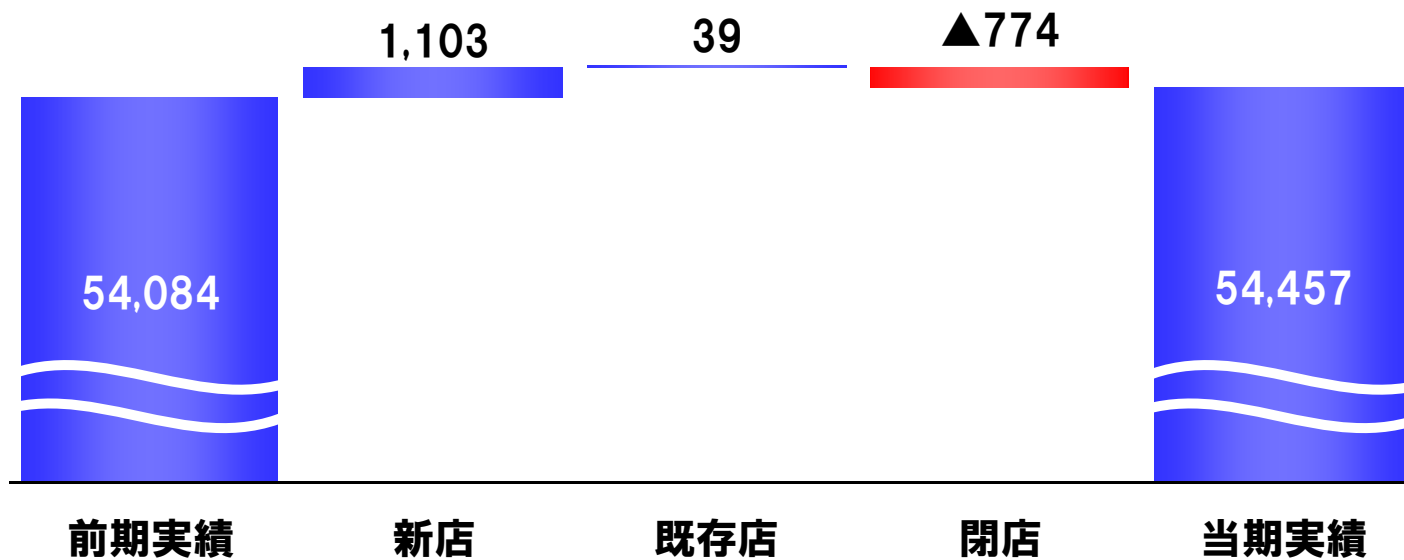


# KFC事業 システムセールス

おいしさ、しあわせ創造企業  
日本KFCホールディングスグループ

単位：百万円\_百万円未満切捨

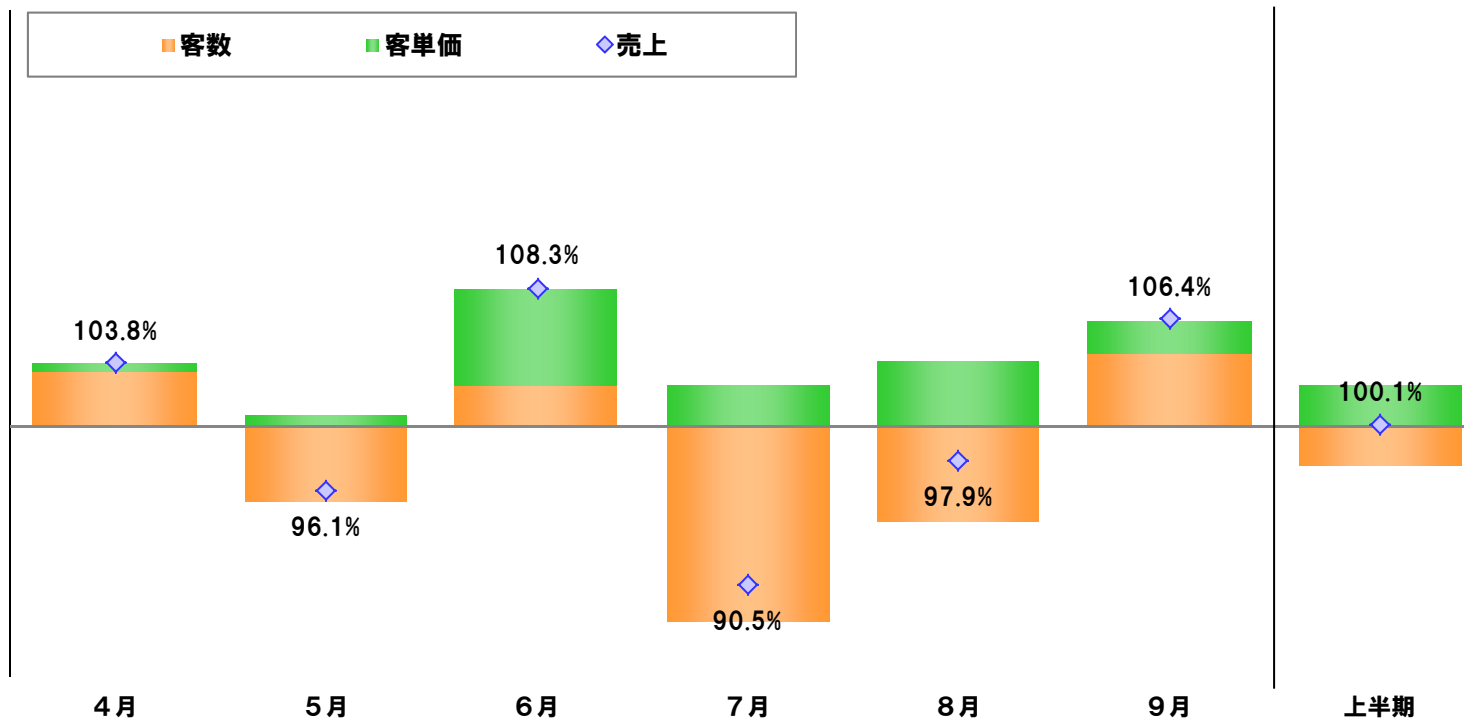
	当期実績	前期実績	増減
直営	16,203	15,952	251
FC	38,254	38,131	122
システム	54,457	54,084	373



# KFC事業 既存店前年対比

おいしさ、しあわせ創造企業  
日本KFCホールディングスグループ

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	通期
売上	103.8%	96.1%	108.3%	90.5%	97.9%	106.4%	100.1%
客数	103.3%	95.5%	102.5%	88.3%	94.3%	104.4%	97.7%
客単価	100.5%	100.6%	105.7%	102.5%	103.9%	101.9%	102.5%



# KFC事業 店舗数

おいしさ、しあわせ創造企業  
日本KFCホールディングスグループ

## <今期実績>

	当期期初	新店	閉店	移管	当期期末	増減	改装
直営	326	4	▲6	▲1	323	▲3	26
FC	823	12	▲6	1	830	7	57
システム	1,149	16	▲12	0	1,153	4	83

## <前期実績>

	前期期初	新店	閉店	移管	前期期末	増減	改装
直営	316	6	▲2	4	324	8	25
FC	828	9	▲5	▲4	828	0	23
システム	1,144	15	▲7	0	1,152	8	48

# 平成30年3月度 通期予想

おいしさ、しあわせ創造企業  
日本KFCホールディングスグループ

単位:億円\_億円未満切捨

	平成30年3月期 予想	平成29年3月期 実績	増減
売上高	774	880	▲106
営業利益	12	25	▲13
経常利益	10	24	▲14
純利益	15	13	2



# 当社グループの これまでの主な取り組み

# これまでの取り組み①～出店・改装進捗状況

おいしさ、しあわせ創造企業  
日本KFCホールディングスグループ

## ①新店・既存店舗の改装促進

(1) 2017年度出店計画 ⇒ **1,159店舗**(前年度比**10店舗増**)

		2017年度 計画		第2四半期時点 実績
KFC	出店	37	⇒	<b>16</b>
	閉店・移管	▲27	⇒	▲12
	純増減	<b>10</b>	⇒	<b>4</b>
	期末店舗数	<b>1,159</b> (直営332・FC827)	⇒	<b>1,153</b> (直営323・FC830)

(2) 2017年度改装計画 ⇒ **161店舗**(前年度比**59店舗増**)

		2017年度 計画		第2四半期時点 実績
KFC	改装	<b>161</b> (直営61・FC100)	⇒	<b>83</b> (直営26・FC57) <b>進捗率 51.5%</b>

# これまでの取り組み②～店舗開発

おいしさ、しあわせ創造企業  
日本KFCホールディングスグループ

## ②「KFC Plus」店舗の開発（KFC Plus武蔵境店）

- ・「みんなが自然に笑顔になる場所」をコンセプトとした店舗
- ・プレートメニュー、アルコール、デザートまで幅広いメニューを取り揃えた次世代店舗の第3弾



【KFC Plus 武蔵境店(東京都武蔵野市)】

(平成29年7月13日 リニューアルオープン)



# これまでの取り組み③～商品開発

おいしさ、しあわせ創造企業  
日本KFCホールディングスグループ

## ③商品開発力の強化・・・「研究開発部」の新設

- 健康志向、個食化、お子様やシニア層への対応  
(国産生野菜を使用したメニュー開発、骨なしチキン開発)



【野菜たっぷりツイスター】



【スムージーバランスセット】

## 「低アレルギーメニュー」の販売

→卵、牛乳、小麦、そば、落花生、エビ、カニの7品目を原材料として使用しない商品

## 低糖質、低塩分メニューを研究中

店舗限定  
低アレルギーチキンプレート  
¥600  
ドリンク付 ¥700  
100%オレンジジュースはドリンクに変更できます。  
バナナ ケーキ  
国内産チキン  
これら7品目を原材料として使っていません  
卵、牛乳、小麦、そば、落花生、エビ、カニ

※写真はKFCのチキンプレートのイメージです。  
※低アレルギーメニューはアレルギー症状を軽減しにくいことを保証するものではありません。ご注文の際の原料の表示は、お客様ご自身でご確認ください。  
※低アレルギーメニューはアレルギー症状を軽減しにくいことを保証するものではありません。ご注文の際の原料の表示は、お客様ご自身でご確認ください。  
※低アレルギーメニューはアレルギー症状を軽減しにくいことを保証するものではありません。ご注文の際の原料の表示は、お客様ご自身でご確認ください。

# これまでの取り組み④～海外貢献活動 おいしさ、しあわせ創造企業 日本KFCホールディングスグループ

## ④国連WFP「学校給食プログラム」への支援活動

- 2007年より飢餓撲滅活動として  
学校給食を支援

⇒今年で10周年を迎える

これまで累計550万人分

(167百万円分)を支援

- 支援国のネパールを訪問
- 寄付つきメニューの販売、店頭  
募金、インターネット募金を実施



ケンタッキーフライドチキンは2007年から  
国連WFPの学校給食プログラムを  
継続して支援しています。



# これまでの取り組み⑤～スポーツ大会支援

おいしさ、しあわせ創造企業  
日本KFCホールディングスグループ

## ⑤スポーツ大会への協賛

- ・「KFCカップ」・・・小学生を対象としたサッカー大会への支援
- ・Jリーグ(浦和レッズ)への協賛(今シーズンから)





# これまでの取り組み⑥～調理体験

おいしさ、しあわせ創造企業  
日本KFCホールディングスグループ

## ⑥「キッズスクール」(調理体験)の開催

- ・子どもたちに食事の大切さを考え、手づくりすることの楽しさを体験してもらうことを目的に開催
- ・株主様ご家族向けの開催も予定(2018年3月)



## ⑦「働き方改革」の推進

### (1) ワーク・ライフ・バランスの推進

- ・地域限定社員制度の導入(2016年4月～)
- ・時間限定社員制度の導入(2016年4月～)
- ・フレックスタイム制度の導入(本社部門、2017年3月～)

### (2) ダイバーシティの推進

- ・「ダイバーシティ課」の新設(2016年度)
- ・「女性活躍推進行動計画」の策定  
2018年3月までに女性管理職の割合を「**8.0%**」と目標  
(参考:2017年3月時点 10名、全管理職の6.4%)
- ・シニア、外国人採用の拡大



## 2020年に向けた当社グループの成長戦略

## ①国内基盤の強化

これまで培ってきたノウハウを活かしての“食”に関する  
事業の検討

## ②海外成長市場への進出

経済発展が著しいアジア市場に、海外で競争力のある  
ブランドとの提携、新規市場の開拓

## ③既存ブランドの海外展開

タイ国への進出、17年9月末時点で132店舗展開

本年度は140店舗に拡大、2020年までに230店舗の  
出店を目標



# 平成30年3月期 通期業績見通し



# 平成30年3月期 連結業績見通し

おいしさ、しあわせ創造企業  
日本KFCホールディングスグループ

## 日本KFCホールディングス株式会社 平成30年3月期通期（平成29年4月1日～平成30年3月31日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する当期純利益	1株当たり 当期純利益
通期	77,400	1,200	1,000	1,500	66円89銭

### 【計画達成へのポイント】

#### ① キャンペーン施策による既存店舗の売上高拡大

#### ② 新規出店・改装計画の着実な実行

- 1) 新規出店計画……………KFC37店舗（直営：19店舗、フランチャイズ：18店舗）
- 2) 改装計画……………KFC161店舗（直営：61店舗、フランチャイズ：100店舗）

#### ③ 新業態店舗展開

#### ④ 人件費・広告宣伝費等の経費最適化によるコスト削減

# 株主還元方針

おいしさ、しあわせ創造企業  
日本KFCホールディングスグループ

## 【基本方針】

**継続的かつ安定的な配当を継続**

## 【配当指標】

**配当利回り+優待利回り=3.00%**

(平成29年9月29日終値ベース)

	平成26年3月期 (第45期)	平成27年3月期 (第46期)	平成28年3月期 (第47期)	平成29年3月期 (第48期)
1株当たり年間配当金(円)	50.00	50.00	50.00	50.00
配当性向(%)	253.9	—	153.4	82.1
純資産配当率(%)	4.9	5.1	5.3	5.3

(注)平成27年3月期の配当性向につきましては、当期純損失を計上しているため記載しておりません。

**平成30年3月期は、年間50円配当を予想  
配当性向(予想)は74.7%**

# 予測に関する注意事項

おいしさ、しあわせ創造企業  
日本KFCホールディングスグループ

本資料は情報の提供を目的としており、本資料による何らかの行動を勧誘するものではありません。

本資料(業績計画を含む)は、現時点で入手可能な信頼できる情報に基づいて当社が作成したものでありますが、リスクや不確実性を含んでおり、当社はその正確性・完全性に関する責任を負いません。

ご利用に際しては、ご自身の判断にてお願いいたします。本資料に記載されている見通しや目標数値等に全面的に依存して投資判断を下すことによって生じ得るいかなる損失に関しても、当社は責任を負いません。

この資料の著作権は日本KFCホールディングス株式会社に帰属します。いかなる理由によっても、当社に許可無く資料を複製・配布することを禁じます。

おいしさ、しあわせ創造企業  
日本KFCホールディングスグループ

---



**KFC**

*It's finger lickin' good*